



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.24

令和3年7月5日

文責：校長 伊藤孝行

今年も7月5日が巡ってきました。

平成24年7月5日から、もう9年になりました。あの子が生きていれば、元気な高校2年生になっていたはずです。

① 郡山市内小学校敷地内交通死亡事故

保護者の皆様の記憶にあるでしょうか？

平成24年7月5日に、郡山市内小学校の敷地内で交通死亡事故が起きました。

この事故は、登校し玄関付近にいた2年生の男の子が、忘れ物を届けに来た保護者が運転する車にひかれて亡くなったという事故です。

被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者というとても悲惨な事故でした。

それ以来、郡山市では7月5日を「校地内安全点検の日」として、この悲惨な事故を繰り返さないよう語り継いでいます。また、「歩車分離」という、歩行者(子ども)と車が一緒にならないよう動線を分け安全を確保しています。

本校では子どもの登校時間帯、学校前の道路が進入禁止になっているのはそのためです。

② 須賀川市内小学校交通死亡事故

平成20年5月23日に、須賀川市内小学校校庭で交通死亡事故が発生しました。

5月23日は土曜日で翌日が運動会のため、多くの人が「場所取り」のため校庭に集まっていました。そこに、小学生の孫を乗せて場所取りに来た祖父の車が運転を誤り、校庭に突っ込みました。5人の人が車の直撃を受け、その中にいた一人が亡くなりました。

車に乗っていた子ども、校庭にいた大勢の子どもが事故を目撃し、大きなショックを受けました。当然、その年の運動会は中止になりました。

事故が起こると、一瞬にしてすべてがなくなってしまうということです。

私は、自分の学校では、絶対に被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者という事故は起こさないと強く思い、安全指導を行っています。

「7時30分から8時30分までは、学校前の道路は進入禁止になっています。ここで、お子さん

を降ろすことは、危険なのでおやめください。」

「これから、子どもたちが下校します。この場所に車が止まっていると危険です。上校庭に駐車してください。」昨年の4月から、何度もこの言葉を使いました。

なかには、不愉快な思いをされた方もいらしたと思いますが、それもすべては、「被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者・祖父母という事故は起こさない。」という思いからです。

危険を感じたときは、厳しい口調になりますが、ご理解のうえ、ご協力を重ねてお願いします。

授業の様子をZoomで配信しています。

新型コロナウイルスの郡山市内における感染拡大のため、授業参観は中止といたしました。

2日(金)、5日(月)、6日(火)の三日間に渡り授業の様子を配信しています。



上の写真は1年生の授業を配信しているときの様子です。使用している機器や回線速度の問題もあり映像や音声に不具合もみられましたが、少しでも学級の様子をお届けできるよう努力をしています。

6月の朝の体温測定率は98%でした。

6月の体温測定の実施率は98%でした。日和田小の子ども数は433人なので、一日平均にすると8.6人が忘れたことになります。

新型コロナウイルスは、変異株と呼ばれる感染力が強いウィルスが広がってきました。

体温測定、手洗い、手指消毒、マスク着用など、今取り組んでいることをさらに徹底し、感染拡大を防いでいきましょう。